

外務省 高校講座

2年生を対象に、外務省職員による講演会を行いました。講師として、外務省経済局 国際経済課 経済協力開発機構室 課長補佐 穴澤葉子 様をお招きしました。

🌈 講演「外交という仕事」

1. 外務省について

「外交」とは、言葉や文化、考え方の違うたくさんの国々がある国際社会の中で、日本や日本国民の利益を守る仕事。

2. 日本外交の5つの取組

(1) 日本と国際社会の平和と安定の確保

日本の安全保障政策、国際連合を中心とする国際協調、平和の構築、海洋における秩序と安全の確保、軍縮・不拡散と原子力の平和的利用の推進

(2) 地球規模課題への取組と開発協力 -世界の様々な課題の解決への取組-

人間の安全保障、人道支援、連結性の強化、保健医療課題への取組、防災への取組

(3) 日本経済の成長と繁栄の追求

自由で開かれた国際経済システムを強化するためのルール作り、日本企業の海外展開を支援、資源外交、外国企業の日本への投資促進

(4) 日本についての理解の促進

パブリック・ディプロマシー、文化や人の交流の促進、スポーツ外交の推進

(5) 「国民と共にある外交」の推進

海外での日本人への支援、地方自治体やNGOとの連携、国民への情報発信と広聴活動

3. 外務省での仕事

- ・日本が加盟している経済協力開発機構（OECD）との協力・連携
- ・G20 大阪サミット事務局
（各国首脳の配偶者のおもてなし、日本文化の紹介）
- ・海外（ガーナ、アメリカ、ベトナム）での仕事
～二国間の友好・協力関係の強化～

4. 皆さんへのメッセージ

- ・コミュニケーションの手段として、英語やその他の外国語を習得する。
- ・好奇心をもって、相手との文化や価値観の違いを受け入れる。
- ・国際社会で何ができるか自分なりに考えて、行動に移してみる。

5. 質疑応答

生徒からの質問：「外務省での仕事を通して、日本と外国の違いをどのように感じますか？」

穴澤様より：

「日本は部署での連携や調和が重視される。みんなで協力してがんばる、という雰囲気強いと感じる。海外でもチームワークはもちろん大切だが、自分はこれができる、強みだ、というアピールが大切。自分の持ち味や能力を積極的にアピールしないと認められない。

また、在外公館や大使館にはその国のローカルスタッフが大勢いる。その国の職員の人たちが活躍できるように、その人の良いところを見つけて引き出すことを心掛けてきた。」



🌈 生徒との座談会

講演の後、生徒との座談会を行いました。ガーナやベトナムで勤務したときの体験談や、令和元年の天皇陛下の即位の礼のときに、海外からの賓客をおもてなししたときのエピソードを語っていただきました。

また、参加した生徒からは「自分の強みを見つけるにはどのようにしたらよいか」「海外留学をするうえでの留意点は何か」「外国で勤務したときに驚いたことはどんなことか」など、積極的に質問が出ました。

